

令和5年度 川前小学校 情報活用能力 学習目標リスト

	概要	学習内容	レベル1 (小学校下学年)	レベル2 (小学校上学年)	ツール・教材
活動スキル (調べ方・伝え方)	【主に情報の収集・発信面での情報手段(道具)の使い方】 コンピュータや図書などのさまざまな情報手段を活用するための基礎的な知識・技能	A1 記録と編集	写真や動画の撮影, 音声の記録をする	写真や映像, 音声の加工・編集をする	ChromeBook Google Work Space for education ロイロノート
		A2 PCの操作	手書き, 音声入力をする(1, 2年生) ローマ字で文字入力する(3年生)	クラウド等を用いた協働作業のためにコンピュータを活用する	
		A3 ウェブ検索	キーワードで検索する	サイトの構造を理解して情報を見付ける 2つ以上のキーワードで検索する。	
		A4 図書利用	図書館内にある本を見付ける	目次や索引を活用して情報を見付ける	
		A5 インタビュー	質問を用意する	下調べをしてインタビューするべき質問を選ぶ	
		A6 アンケート	何を聞かか質問を考える	目的に合った質問の形式や内容を考える	
		A7 メモ	大事だと思ったところを短い言葉で書く	箇条書き・単語でポイントをまとめる	
		A8 口頭発表	(物を見せながら)大きな声で分かりやすく話す	(資料を効果的に示しながら)身振りや声の抑揚など伝え方を工夫する	
探究スキル (考え方)	【主に情報の編集(整理・分析や表現)場面】 収集した情報を精査し, 整理・分析し, まとめ・表現する際に働く思考・判断・表現力	B1 取捨選択	課題解決に役立つ情報を選ぶ	選んだ根拠を説明する	Google Work Space for education ロイロノート 思考ツール
		B2 読み取り	一つの資料から視点を持って情報を読み取る	複数情報から共通・相違点を見付ける	
		B3 創造	情報から分かったことをまとめる	情報を組み合わせて新たな意味を見いだす	
		B4 伝達内容の構成	話の順番を組み立てる	相手を説得するために論理を組み立てる	
		B5 表現の工夫	プレゼン, 新聞, 動画などメディアの種類に応じた良さをを知る	伝えたいことに応じて表現方法を工夫する	
		B6 受け手の意識	相手を意識して伝え方を工夫する	相手の反応を見て伝え方や内容を工夫する	
		B7 学習計画	決められた計画に見通しを持つ	自分で計画を立てる	
		B8 評価と改善	学びを振り返る	振り返りを基に次にやってみたいことを考える	
プログラミング (デジタルな考え方)	【問題解決】 問題解決の手順を理解し, コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現する力	C1 物事の分解	物事を部品に分けて捉える	部品を組み合わせて物事を表現する	スクラッチ Mesh アーテックロボ スプレッドシート 思考ツール
		C2 情報の分類	情報を決められた観点に分類・整理する	観点を考えて情報を分類する	
		C3 情報の関係付け	情報と情報の間にある関係に気付く	情報と情報の関係を図やプログラムで表現する	
		C4 問題解決の手順	問題解決の流れを手順に表す	問題解決の手続きを順序・繰り返し・分岐などを組み合わせて表現する	
		C5 試行錯誤	うまくいかない時に繰り返し取り組もうとする	試作やシミュレーションを通して問題解決の方向性や改善策を見いだす	
		C6 データの傾向	増加・減少等の大まかなデータの傾向を見いだす	データの変化を捉えて説明する	
		C7 情報技術の将来	新しい情報技術がどんなものか理解する	新しい情報技術にどう関わるか説明する	
情報モラル・セキュリティ	情報社会や情報手段の特性の理解と, 安全かつ適切に情報手段を活用しようとする態度	D1 コミュニケーション	情報機器を扱う良さや便利さを知る。	相手によって受け止め方が違うこと, 発信した情報は取り消せないことに注意する	事例で学ぶ net モラル NHK for School
		D2 法と権利	人の作った作品や情報を大切にする	著作権や肖像権に留意して情報を扱う	
		D3 健康と安全	情報機器を使ってよい場所や時間を守る	情報機器を使う場所や時間を自分で管理する	
		D4 ルール・マナー	ルールやマナーが必要であることを理解する	ルールやマナーを相手と一緒に作る	
		D5 セキュリティ	パスワードを安全に管理する	なりすましやウィルスなどの危険を理解する	
		D6 個人情報	自他の情報をむやみに他人にもらさない	自他の情報が伝わる範囲を考えて行動する	
		D7 情報社会の将来	情報社会の特色を理解する	情報社会の中でどう生きていくか説明する	